

背景

令和8年度より現行の「御嵩町地域公共交通網形成計画(令和2～7年度)」を継承した「御嵩町地域公共交通計画」を運用開始する予定であったものの、御嵩町の公共交通軸と設定している名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)(以下「当該線区」という。)の存廃の方向性が決まっていなかったため、網形成計画の期間を1年延長(～令和8年度末)した。

その後、令和8年5月に鉄道存続協議が終了することとなり、8月に当該線区は令和11年4月1日(日)廃止することが決定した。

方向性

当該線区が約2年半後に廃止することを踏まえ、既存路線にとらわれないゼロベース発想で地域公共交通体系の再構築を目指すこととし、町民等の生活様式や移動実態の変化、今後の移動ニーズ、将来のまちづくりや都市計画等を踏まえ、単なる網形成計画の継承ではない地域公共交通計画を策定する。

令和8年度

- (当該区間廃止を前提とした)**地域公共交通計画策定に向けた調査等の実施**

▶**御嵩町からの負担金(8,481千円)及び国補助金を活用**し、地域公共交通会議にて調査業務等を行う。
地域概況・公共交通の現状の整理、町民アンケート調査、乗降調査・バス利用者アンケート調査、交通事業者等関係者ヒアリング、町民向けワークショップ、現行計画評価、課題整理

令和9年度

- 網形成計画を令和9年度末まで再延長手続き**

- 地域公共交通計画の策定完了
- 新たな公共交通手段の検討・準備

令和10年度

- 地域公共交通計画 運用開始
- 新たな公共交通手段の運用手続き、実証

令和11年度

- 当該線区廃止(令和11年4月1日)
- 地域公共交通計画 運用2年目
- 新たな公共交通手段の運用開始

公共交通リスタートプロジェクトミーティング(R8.8.16)
町民約50名参加 新たな公共交通を考えるワークショップ実施

